

「革新的新構造材料等技術開発」プロジェクトについて

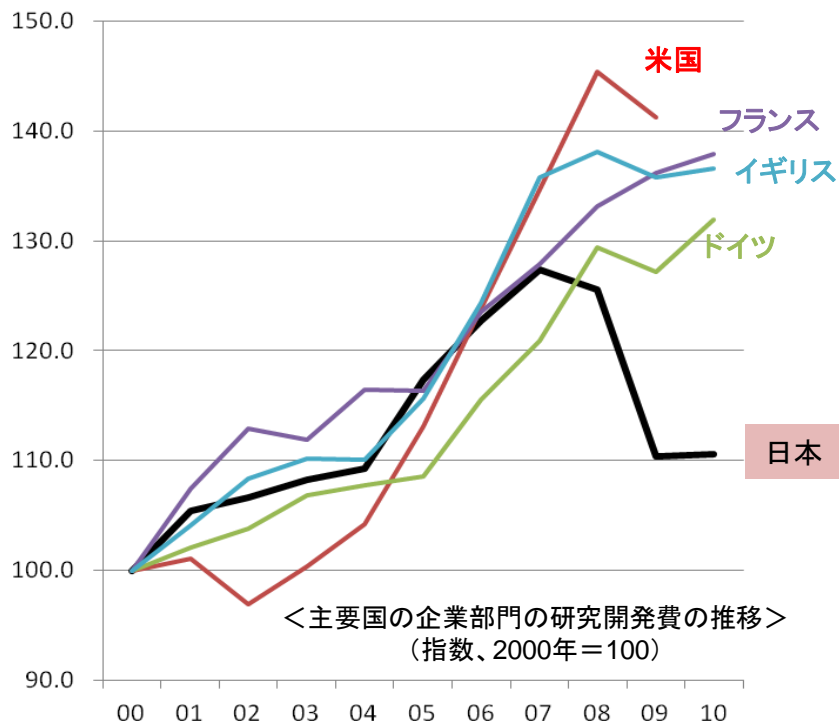
- ①名称 革新的新構造材料等技術開発
- ②実施期間 開始年度: 平成25年度(2013年度)～最終年度: 平成34年度(2022年度)
- ③予算 平成25年度予算概算要求額: 60.5億円(うち要望額53億円)。
事業実施期間における国費投入総額: 600億円

④背景・目的

(背景1) 企業の研究開発の状況(縮小・短期化)

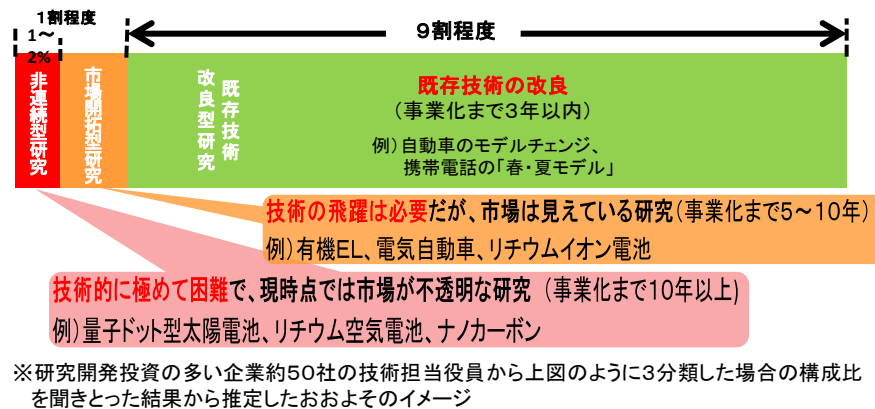
- 我が国企業の研究開発費は、リーマンショック以降、2年連続で縮小。2009年度は対前年比▲12%。
- 企業の研究開発の大部分は、既存技術の改良。将来の成長の糧となる中長期的研究開発への投資は薄く、かつ減少傾向。このままでは、画期的な新製品等の開発に向けたイノベーションが枯渇する懸念。企業間の重複投資も大きい。

企業の研究開発の縮小



科学技術研究調査(総務省)、Main Science and Technology Indicators(OECD)

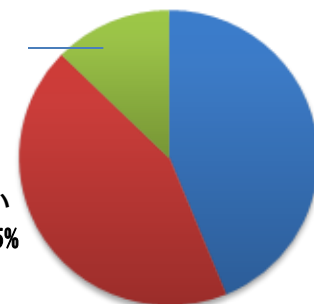
企業の研究開発の短期化



中長期的な研究開発が増えている
12.7%

変わらない
43.5%

短期的な研究開発が増えている
43.8%



出所: 2010年度産業技術調査(オープンイノベーションに関する企業アンケート) 回答数: 858社